

## **「宇宙プロジェクト」の始動**

### **～宇宙ならではのリスクに挑戦し、社会課題を解決～**

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「当社」)は、2022年4月1日より、保険の開発・提供やリスクコンサルティングを通して、宇宙産業に携わるお客様の取り組みや社会課題の解決を支援し、産業の成長・発展に貢献することを目指す、「宇宙プロジェクト」を始動いたします。

#### **1. 背景**

近年、技術の進展や官民の積極的な連携によって宇宙を取り巻く環境は急速に変化しており、宇宙産業は多様な裾野の広がりを見せています。世界では民間人だけの宇宙旅行も実現するなど、宇宙は政府や企業の活動だけでなく個人としても徐々に身近な存在になりつつあり、今後もさらなる利用拡大が見込まれています。

宇宙利用の拡大に伴って宇宙デブリ問題という新たな社会課題も生まれており、宇宙産業の成長・発展に貢献するうえで、多様化・複雑化するリスクに対応した新たな保険商品の提供やリスクコンサルティング、宇宙デブリ問題などの社会課題解決に向けた支援の重要性は高まっています。

当社は1970年代から約50年に亘り、人工衛星の運用やロケットの打ち上げ等に関わる宇宙特有のリスクに対する保険商品の提供やリスクコンサルティングを通して、国内の宇宙産業の成長・発展に貢献してまいりましたが、宇宙を取り巻く環境変化を踏まえ、これまで培ってきた専門性・ノウハウを結集し、宇宙産業に携わるお客様への支援や社会課題解決への貢献を推進すべく、新たな取り組みを開始することといたしました。

#### **2. 「宇宙プロジェクト」について**

当社は、22年4月1日より、保険商品の開発・提供やリスクコンサルティングを通して、宇宙産業に携わるお客様の取り組みや社会課題の解決を支援し、より一層産業の成長・発展に貢献することを目指す、「宇宙プロジェクト」の取組みを開始します。

本プロジェクトは、宇宙保険を扱う部署、DXを推進する部署、営業企画・開発部門、商品開発部門やグループ会社であるリスクコンサルティング会社等を中心に構成する社内横断のチームが中心となって取り組むプロジェクトとして、以下のような取り組みを推進してまいります。

#### **<具体的な取り組み>**

- ① 人工衛星の運用やロケットの打ち上げ等、宇宙特有のリスクを切り口とした新たな保険商品やソリューションの開発
- ② 宇宙産業に携わる企業との協業を通じた社会課題解決への貢献
- ③ 人工衛星データやデジタルを活用した気候変動対策や防災・減災の災害予測精度の向上
- ④ 宇宙産業の成長・発展に資する取り組み支援
- ⑤ 宇宙関連の専門人材の採用・育成
- ⑥ 宇宙飛行士や宇宙飛行士を目指す人々の応援

### 3. 今後の取り組みについて

#### (1) JAXA「Hello! EXPLORERS PROJECT」に応援サポーターとして参加

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下、「JAXA」)が立ち上げた「Hello! EXPLORERS PROJECT」に応援サポーターとして参加し、宇宙を目指し挑戦する人や企業を応援します。

本プロジェクトは、JAXA が 13 年ぶりに日本人宇宙飛行士を募集するにあたり、アルテミス世代の宇宙飛行士(※)やそこに向かって挑戦する人達を応援する機運を多くの方々と共に醸成するために立ち上げられました。応援サポーターには当社を含む全 28 社(22 年 2 月 21 日現在)が参画しており、今後は様々な業界横断でプロジェクトを支援してまいります。

※アルテミス世代の宇宙飛行士: 月探査プログラム等に参加する新時代を切り開く宇宙飛行士世代のこと。

#### ■ JAXA 宇宙飛行士候補者募集 特設サイト

URL: [https://astro-mission.jaxa.jp/astro\\_selection/](https://astro-mission.jaxa.jp/astro_selection/)

#### (2) サステナブルな宇宙環境の実現に向けた株式会社 ALE(<https://star-ale.com/>)との協業

当社は宇宙デブリ問題という社会課題の解決に向けて、22 年 2 月より株式会社 ALE(東京都港区、代表取締役/CEO: 岡島礼奈、以下「ALE」)と協業を開始いたします。

宇宙デブリと呼ばれる、運用を終了した人工衛星やロケット上段及びそれらの破片などの不要な人工物体は、地球のあらゆる軌道上を漂っており、人工衛星との衝突や将来の打上げ活動に対する影響が懸念されています。昨今の活発な宇宙開発に伴い宇宙デブリが今後増加することが問題視される中、サステナブルな宇宙環境を実現するためには、新たな宇宙デブリを生み出さない取り組みが必要です。

ALE は宇宙デブリ対策の一つであるミッション終了後の人工衛星やロケット上段の速やかな軌道離脱(PMD: Post Mission Disposal)を実現する EDT(導電性テザー)を用いたデブリ対策装置(以下、「EDT 装置※」)の開発、事業化に取り組んでいます。当社は本協業を通じて以下の取組みを推進してまいります。

- EDT 装置搭載によるデブリ化防止やデブリ衝突リスク低減の効果の検証
- EDT 装置の普及促進に向けた保険商品の開発
- 国際的な議論を含む持続可能な宇宙環境を見据えた宇宙デブリ問題への対策の検討

※EDT 装置について… <https://star-ale.com/project/debrismitigation.html>

当社は本協業を通じて EDT 装置の事業化を支援し、サステナブルな宇宙空間の実現に向けた貢献をめざしてまいります。

以上